

2008年度 情報検索応用能力試験

1級 試験問題(後半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
また、「前半試験で選択した専門分野番号」欄に、前半試験で選択した専門分野番号を必ずご記入下さい。

専門分野番号	専門分野名
1	ビジネス
2	特許
3	化学
4	ライフサイエンス
5	総合

記入のない場合は、採点対象となりませんのでご注意ください。

3. 解答時間は、15：15～16：15の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は共通問題2問、専門問題各1問、全13ページ、解答用紙は8ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

p. 3 から p. 5 は共通問題です。

すべての受験者の方が、解答してください。

共通問題

問2 収集・蓄積した情報を、組織内の複数の人が同時に閲覧できるようなシステムを構築しようとした際に、データを集めて各人に配信する機能の他に、どのような機能を持たせたら良いか。考えられる機能を5つあげ、なぜその機能が必要か簡単に説明しなさい。

問3 以下の英文は、MEDLINE の訂正記事等に関する Fact Sheet の抜粋である。これを読んで、以下の設問（1）～（3）に答えなさい。

- （1）erratum情報が表示されるフォーマットを答えなさい。
- （2）authorに訂正があった場合につくられるレコードの特徴を述べなさい。
- （3）Duplicate Publication[PT]とDuplicate Publication as Topic[MH]の違いについて答えなさい。

Errata

Corrections or corrigenda for previously-published articles are all uniformly considered by NLM to be errata. NLM does not differentiate between errors that originate in the publication process and those that result from errors of scientific logic or methodology, because journal editors do not make this distinction consistently or clearly. Since 1987, when a journal has published a labeled, citable erratum to a previously-published article, NLM has amended its citation to the original article with a bibliographic reference to the erratum notice, in order to alert users and refer them to the source of the erratum information.

In PubMed®, the erratum information typically appears as a text phrase such as:

Erratum in: JAMA. 2004 Nov 24;292(20):2470.

The appearance of the erratum information varies with the display format (Summary, Abstract, etc.) with which a PubMed citation is viewed. In the MEDLINE format, the erratum information appears in the EIN (Erratum in) field.

Errata may be published to correct text or information that appears anywhere within an earlier published article. If the correction involves text or information that is part of the corresponding NLM citation, such as the author, title or abstract, then NLM will update its citation to the corrected form of the text or information, and will indicate in some manner that data within one of the citation fields has been corrected. When appropriate, NLM will retain the ability to retrieve the data via the previous, uncorrected form of the citation.

For example, if an author name has been corrected, NLM will retain the ability to search and retrieve the citation via the originally published, incorrect form of the author name, in addition to the ability to search and retrieve the citation via the

corrected form of the author name. A notice about the correction in the citation will show both the incorrect spelling of the name and the corrected form.

-----<<中略>>-----

Duplicate Publication

NLM identifies an article that substantially duplicates another article without acknowledgement by assigning both articles the Publication Type of Duplicate Publication [PT]. Such articles have one or more authors in common and a substantial amount of duplicated text. Duplication may occur intentionally, to achieve wider dissemination of an article such as a policy statement, or inadvertently, through multiple submission of a manuscript to different journals.

The Publication Type of Duplicate Publication [PT] may be added to a citation with or without a formal notification from authors or journal editors. In the indexing process, indexers sometimes recognize duplicates or very similar publications. If inspection of the potentially duplicative articles indicates a substantial amount of overlap, the Publication Type will be added. However, NLM does not routinely examine articles for originality.

A notice of duplicate publication is sometimes published within a journal when an occurrence of duplicate publication is discovered. Such notices are cited in MEDLINE and indexed with the MeSH subject heading Duplicate Publication as Topic [MH], and comment linkages are created to each of the citations for the duplicate articles.

-----<<以下省略>>-----

ここからは専門問題です。

前半試験において選択した専門分野について、解答してください。

専門分野番号	専門分野名
1	ビジネス
2	特許
3	化学
4	ライフサイエンス
5	総合

専門問題：1. ビジネス

問4 国内大手家電メーカーA社の冷蔵庫の数字を調べたいという依頼を受けた。有価証券報告書では、冷蔵庫を含む事業部としての売上高は掲載されていたが、冷蔵庫単独の数字は掲載されていなかったとのこと。このような依頼を受けたときの対応として以下の設問に答えなさい。

- (1) 依頼者に確認する事項を5つ以上あげなさい。
- (2) 調査方法を3種類以上あげなさい。
- (3) 最も有効と思われる調査方法について、その理由をあげ、具体的なツール名を2つ以上用いて説明しなさい。

専門問題：2. 特許

問4 ある製品に関して新たに盛り込まれたアイデアを特許出願する前に、そのアイデアが権利化できるか、あるいはどのような特許請求の範囲なら権利化できそうかを確認するための調査（ここでは調査Aと呼ぶ）と、権利を侵害する可能性のある他社特許の有無の確認や特定を行うための調査（ここでは調査Bと呼ぶ）を依頼された場合に、あなたはどのような考え方で調査に臨みますか。

調査の精度と効率を考慮に入れて、以下の項目ごとに調査AとBの相違が明らかになるように説明しなさい。

- (1) 調査を開始する前に依頼者から入手すべき情報。
- (2) 調査すべき内容（テーマ）の決め方。
- (3) 調査に用いる特許データベースの検索に際して、キーワードや特許分類の使い方などを含めた検索の考え方。
- (4) 検索結果についてそれぞれ関連の有無を判断する観点。

専門問題：3. 化学

問4 ヘテロ環を含むある部分構造を持つ物質について、既存物質だけでなく新規物質も含めて、最新の文献や特許を定期的に調べて入手したい。

検索者がデータベースで定期的に検索する以外に、どのような方法が考えられるか。最も適切と思われる方法をあげて、説明しなさい。

(1) 使用するファイル

(2) 方法

(3) その方法で見つけた特許について、対応特許が出てきたことも知りたい。

その方法を用いて知ることはできるか。判断した理由もあわせて説明しなさい。

専門問題：4. ライフサイエンス

問4 解熱鎮痛消炎薬のリスト、文献、およびライセンスの可否について情報を集めたい。以下の設問に答えなさい。

- (1) 治験薬も含めた網羅的な医薬品のリストを作成するにはどのような検索ツールを利用すればよいか。具体的な検索ツールの名称を答えなさい（複数解答可）。
- (2) PubMed で文献を網羅的に検索したい。具体的な検索手順とその留意点を述べなさい。
- (3) 商用データベースを用いてライセンス可能な解熱鎮痛消炎薬を検索したい。ただし、開発が中止されたもの、日本での特許期間が満了しているものは対象外としたい。具体的な検索方法を述べなさい。

ただし、解答には以下のポイントを含めること。

- ①使用したシステムとデータベース名
- ②そのツールを選択した理由
- ③検索する上での留意点・問題点

専門問題：5. 総合

問4 ある人が Google の検索窓に以下のように入力した。

((GDP OR GNP) -グッドデザインプレゼンテーション -人情) ”世界ランキング”

以下の設問に答えなさい。

- (1) この検索式の表す意味を文章で述べなさい。
- (2) この検索式の欠点を2つ（以上）あげなさい。
- (3) 検索エンジンで得た Web 上のデータを使用する際に留意すべき点を述べなさい。